

BIO Mimetics

バイオミメティクス・市民セミナー

秋元 信一（北海道大学 大学院農学研究院 教授）

雪虫のなぞ： 複雑な生活史と 形の変化

2017年4月1日（土）

会場：北海道大学総合博物館 / 1階「知の交流」
札幌市北区北10条西8丁目

時間：午後1時30分から 午後3時30分



トドネオオワタムシ
©石黒誠

雪虫（トドネオオワタムシ）は北海道では身近な虫ですが、

その生活史は昆虫の中でも最も複雑です。さらに、季節によって5種類もの

形の異なる成虫が現れ、他に見られない多型を示します。雪虫を含むワタムシ（アブラムシ科ワタムシ亜科）は虫こぶ（ゴール）を作ったり、寄主植物を取り替えたり、性比を母親がコントロールできたり、といった不思議な習性が見られます。こうした習性はどのようにして進化してきたのでしょうか？ 進化のシナリオを紹介したいと考えています。

バイオミメティクスに関わる話題としては、ワタムシの仲間の排泄物の処理方法（リキッドマーブルの形成）に焦点を当てて、大阪工業大学の藤井先生との共同研究を紹介いたします。



主催：北海道大学総合博物館
共催：科学研究費新学術領域「生物規範工学」
高分子学会北海道支部
協賛：千歳科学技術大学バイオミメティクス研究センター

北海道大学総合博物館
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
問合せ先：TEL. 011-706-2658 FAX. 011-706-4029
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp